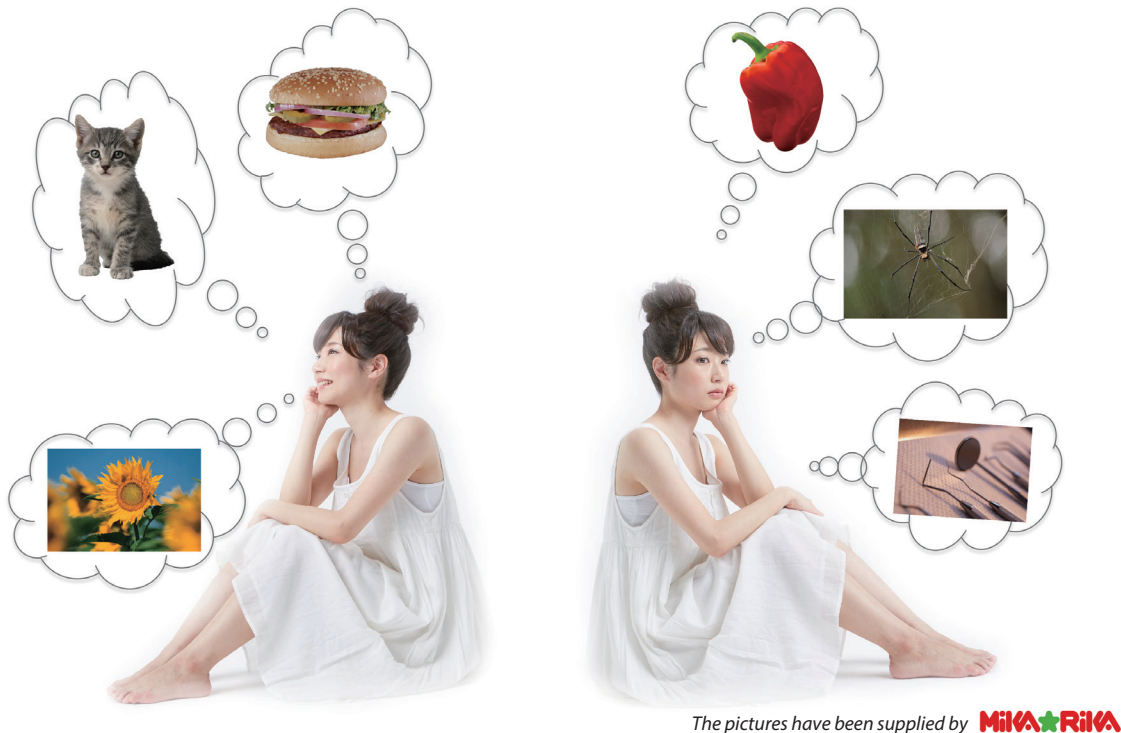


環境とのインタラクションによる好みの形成 —刺激の選択及び接触を中心とした検討—

私たちの「好み」は、どのようなメカニズムによって決定されるのでしょうか？井上和哉先生（関西学院大学）をお招きして、心理学的な研究の事例をお話し頂きます。



講師：井上 和哉 先生（関西学院大学文学研究科・日本学術振興会）

日時：2015年7月21日（火）16：30～18：00

場所：新潟大学 中央図書館 ライブラリーホール

主催：人文学部 研究プロジェクト「ヒト認知系の総合的研究」

共催：人文社会・教育科学系「間主観的感性論研究推進センター」

＊事前申込み、参加費ともに不要。どなたでもご参加頂けます。

講演要旨：人間の選好は環境とのインタラクションによって形成されることがある。例えば、特別なやり取りはなくても、同じ人に何度も繰り返しかうだけで、その人を好ましく知覚するようになる。また、もともと同程度の好みであったとしても、自分が選択した商品は選択しなかった商品よりも、好ましく知覚されるようになる。これらの現象は、1900年代中頃から認知心理学や社会心理学の分野で精力的に研究されてきたにも関わらず、未だに決定的な説明は得られていない。本講演では、これらの現象の生起メカニズムに迫るいくつかの研究について紹介する。